

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 木本小 学校
校長氏名	前北博文
作成日	令和 4年 3月 10日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・校内学力調査で基本問題の正答率 80% ・児童の意欲を引き出す指導の工夫をしている(教師100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%以上) ・「私たちの道徳」「心のとびら」の活用100% ・いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣点検にて、朝食の摂取率100%、メディア視聴時間が2時間以下の割合が90%以上。 ・食への関心を、高めるための指導を行う(教師100%) 	<p>学校の様子がよく伝わった(保護者60%)</p>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人権意識の向上 ◎いじめの未然防止と早期発見 ◎道徳教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣の確立 ◎体力向上の推進 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ○地域の資源活用の推進
取組の状況【D】	<p>○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を意識した授業を行う。</p> <p>○家庭学習の手引きを作成し、家庭学習の意義や具体的な取り組み方法を保護者にも周知し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>○学校全体で「読書タイム」の時間を設定するとともに、休憩時間に図書室を開放し、読書習慣の定着を図る。</p>	<p>○「私たちの道徳」「心のとびら」を活用し、道徳科を見据えた授業を行う。</p> <p>○人権学習について、各学年で共通した資料を用いた授業を行い交流する。</p> <p>○いじめアンケート・校内いじめ不登校委員会を定期的に実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める</p> <p>○各学級の児童の様子について、全教職員で共通理解を図る。</p>	<p>○「早寝早起き朝ごはん」についての保健指導や学級指導を通して、活発に授業に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>○生活習慣点検(元気大作戦)を実施し、メディア視聴の時間について意識付けを図る。</p> <p>○みんな遊び等を通して、外遊びを推奨する。</p>	<p>○各種便り、学校運営協議会等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。</p> <p>○授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。</p>
取組の成果と課題【評価結果】	<p>校内学力調査の結果、基礎学力はほぼ定着していると考えられる。しかし、県学力調査では、学年・学級や個人でばらつきがあった。</p>	<p>校内いじめ不登校委員会を定期的に関係職員で情報共有することにより、早期対応ができた。また、SSW、関係機関ともスムーズな連携ができた。</p>	<p>自然災害や防犯を想定した訓練を定期的に行うことにより、児童自身に自分の身は自分で守るという意識の醸成ができた。</p>	<p>地域の方に、普段の児童の様子や感謝の気持ちを伝えることにより、信頼を深めていただくことができた。また、地域の方から褒めていただいたことを校内で伝えることにより、職員や児童の自己肯定感の向上にもつながった。</p>
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も基礎学力部・人権教育部・特別支援教育部を中心に個に応じた指導のありかたについて、研究を進めていく。 ・家庭学習の充実については、保護者への周知について学年・学校全体で行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も児童による「あいさつ運動」に取り組む。あいさつのマナーについての指導も行っていく。 ・児童の自主性及び自己肯定感を育むため、委員会活動を活用する。 	<p>防災・防犯訓練については引き続き定期的に行うが、休憩時間などの避難についても計画していきたい。</p> <p>基本的な生活習慣の確立について引き続き、全児童を対象に、具体的に指導していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会において、学校行事について意見徴収し、学校・保護者・地域との連携についての具体的方策について協議し実行する。

3 その他の課題

- ・スクールソーシャルワーカーなどへの相談件数が多い。
- ・不登校支援員などが対応して改善してきているが、不登校児童や遅刻児童が多い。
- ・ゲームやタブレットの使用時間が長い児童が学年が進むにつれて増えている。

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 木本小 学校

作成日

令和 4年 3月 10日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子を育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・校内学力調査については、目標を達成できているようである。	・児童へのアンケートへの結果から概ね達成できているのではないか。	・朝食の摂取率についてはほぼ達成できているようであるが、メディア視聴時間については、高学年になるほど、達成できていない。	・保護者アンケートの結果、概ね達成できているのではないか。
重点目標に対する	・どれも大事なことで、引き続き取り組んでいくことが大事である。	・さまざまな人権問題に取り組んでいく必要がある。	・姿勢はとても大切なことなので、高学年になってきている割合が下がっていることが気になる。しっかり指導して欲しい。	・家庭と地域との連携については、引き続き充実させていく必要がある。地域資源については、学校がどのような人材を求めなのか、コーディネートしていければよい。
取組状況に対する	・放課後等に個別指導しているのは、基礎・基本の定着のためになっているのではないか。	・アンケートにより、いじめの早期発見や早期解決ができていたので、重大事案に発展しないのはいいことである。	・朝食の摂取率については心配ないようであるが、食事内容についてはどうか。	・コロナ禍で交流も難しくなったが、1年生の昔の遊びなど交流の方法を考えてしていたのはよかった。
取組の適切さの検証結果	・行事を通して培われる力も大事である。	・教室に入れない子や別室登校児童の現状はどうか。	・防災訓練については、継続的に実施していく必要がある。	・挨拶ができる児童が大変多い。また、守り隊の方に自分から話しかけたり、感謝の気持ちを伝えたりする児童もいて、地域ともつながりができている。
改善方法に向けての意見	・学力充実は大事であるが、基本的な生活習慣の確立や人権教育にも引き続き取り組んでいくことが大事なのではないか。	・登下校の守りたい活動をしていると、子どもたちとはしっかり挨拶をしていくので、学校でも引き続き取り組んでいってほしい。	・姿勢指導については、日々の指導も意識してしていきたい。	・育友会行事に自治会も協力できるものがあるのではないか。 ・図書ボランティアをさらに充実させていく。

3 其他のご意見

・「学校が楽しい(児童)」が97%、「毎日楽しそうに学校に通っている(保護者)」が90%とどちらも高い数値であることはよかった。

・メディアや寝る時間など学校でできないこともあるので、家庭との連携協力が必要である。